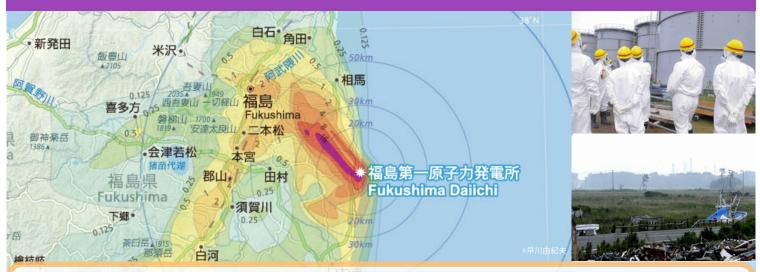
環境エネルギー政策研究所(ISEP)主催 特別研究会

原子力損害賠償の現状と課題 〜被災者の生活再建と原賠法の見直しに向けて〜



福島第一原子力発電所事故からすでに4年が経過しましたが、震災による被災者の避難生活は長期化が 余儀なくされています。原発被災地の復興政策や被害者への賠償には、多くの課題が残されています。 今後の原子力損害賠償の見直しに向けては原子力委員会の下に原賠見直しに係る専門部会が設置される と先日報道がありました。では本当の意味での被災地・被災者にとっての復興とは何か、そのための損害賠償制度とはどうあるべきかを、大阪市立大学教授の除本理史氏を迎えてお話を伺います。

イベントの開催概要

日時:2015年3月19日(木)13:00~14:15

(開場12:45)

場所:衆議院第一議員会館 第5会議室

*ロビーで通行証をお渡しします。

参加費:無料

申込方法:下記のリンクからお申し込みください。

http://goo.gl/forms/kT2cFSjSez

動画配信:後日ISEPのYoutubeで録画公開します。

主催 環境エネルギー政策研究所(ISEP)

*本イベントは平成26年度の独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けています。



講師プロフィール

大阪市立大学大学院 経営学研究科 教授 除本理史氏



大阪市立大学大学院経営学研究科教授。専門は環境政策論、環境経済学。公害・環境被害の補償と被害地域の再生、原発賠償などを研究。著書に、『原発賠償を問う——曖昧な責任、翻弄される避難者』(岩波ブックレット)、『原発事故の被害と補償——フクシマと「人間の復興」』(共著、大月書店)、『環境の政治経済学』(共著、ミネルヴァ書房)、『環境被害の責任と費用負担』(有斐閣)など。

お申込・問合せ先

認定NPO法人 環境エネルギー政策研究所 (担当:道満、山下)

TEL: 03-5942-8937、FAX: 03-5942-8938

お申し込みフォーム:http://goo.gl/forms/kT2cFSjSez